

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2008年11月号

92号

NPO法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-3 1-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

地域福祉の現場に医療の充実を！

——メンバーの危機に直面して——

晩秋の雨が、桜の紅葉した葉をすっかり落しました。路上の落ち葉を掃きながら、美しく赤い葉を思わず手に取ります。季節の移ろいは、特に秋、ちょっとそこはかたなく寂しさもありますが、嬉々として“ハッパ”や“ドングリ”を握り締める幼子たちの姿は、一層愛らしく感じます。

* * *

先日グループホームの事務局会議に、これまでしばらく入院していた入居者のF君がお母様と一緒に来られました。2時間程ながら、グループホームへのご帰館です。退院直後の事でびっくりしましたが、これまで心配していた私たちには、何よりの朗報。

実際に会うことで、何かほっとし、これからの支援についても具体的なイメージが出来るような感じがしました。

F君は、今年の5月「ちょっと 様子が違う...」という職員の判断で急遽横浜療育医療センターへ向かい受診。そのまま肺炎で2度目の入院となりました。

前回の入院も、持ち前の強い生命力で快復し、酸素は手放せなくなりましたが、グループホームでの生活から活動ホームしもだのデイサービスに通所しているところでした。

今回は、入院中に菌感染もあって一時重篤な状態もありましたが、胃瘻（いろう）手術（直接栄養を胃に入れるため）も成功し、退院予定を目前に熱が出て数日退院が延びるなど心配もされましたが、無事退院できることとなり、目下自宅療養です。

これからは、酸素のほか一日1時間ずつ人工呼吸器をつけたり、食事の注入など、どうしても医療行為が伴うため、どのようにしたら、はやく以前の生活に復帰していけるのか、医療の場との連携もしつつ、グループホームやデイサービスのスタッフ、支援センターのコーディネーターなどが一緒に話す機会を持ち、前向きに検討しています。

退院した後の、あのF君独特のごきげんな顔が、逆に私たちを励ましてくれました。しかし、看護に当たるご家族の大変な事は、いうまでもありません。ご自分の健康にも気をつけてねと、いまは皆で祈るばかりです。

これからは、他のメンバーたちも加齢に伴い、体調に変化が出てくる事でしょう。重度障害者が地域で生活をするためには、活動ホームやグループホームへの医療の確かな配慮が欠かせません。私たち応援団も、いよいよ正念場を迎える事になります。



リビングコンサート

三上文子



晩秋のある日、自宅を開放してリビングコンサートと銘うった集いをもちました。

地域での活動に関われない負い目を常に感じており、“何かをしなければ...”という単純な思いと、今年は人生最大の試練にも見舞われ、自らを奮い立たせる気持ちもあり、無謀な計画をたてました。

鬼婆と化しての門人の指導と、自らの練習の合間には、生活のにおいのする物を収納する作業から準備をはじめました。気軽に行ける、近いからなどと予想以上のお客様に、床が抜ける心配をし、前夜は家の図面まで広げる様も笑い話でした。

壁面には、現代では見ることの無い美術品としての昔の箏・琴や様々な演奏形態の写真を掲示、大原友子さんの書の額など、自宅でのコンサートならでの室礼も整えました。演奏の合間には、箏の簡単な歴史や楽器の説明、そして、僭越ながら障害者のお母様方の身を粉にしてのご活動ぶりなど、私が目にし、ほんの少し知る範囲でのお話もさせて頂き、「たわわ」の～めがねの声～に記載されておりました災害時の情報や地域で生きる障害者を支える会の記念誌なども回覧いたしました。町会の中でもその存在が知られるようになり、お世話になっています。

階下のグループホームについてもふれ、一方的に手を差し伸べるだけではなく、障害者の方々の声に耳を傾ける機会も欲しいと感じている事など...。(そして<募金>へとつなげてしまいました。)

演奏後は差し入れの、手づくり菓子類を召し上がっていただき、狭い室内に得も言えぬ温かい雰囲気の皆様が作ってくださり、至福のひとつときでした。(賛助会員)

* 三上様、コンサート参加の皆様より当会にご寄付をいただきました。ありがとうございました。お心が充分生かされますよう、大切に使用させていただきます。*

ご入会 ご継続 ありがとうございます

《賛助会員》 吉原 ふさ子 直井真喜子 渡辺るり子 <敬称略>

**この一冊を！ 「なぜテンマーク人は幸福な国を作ることになったのか
どうして日本では人が大切にされるシステムをつくれぬのか」**

ケンジ・ステファン・スズキ著 <合同出版>

まさに題名そのものの内容ですが、資源の少ない寒冷な地で、60%にも及ぶ税金を当然のこととして出し合い、豊かな国(最高の社会保障制度、教育、医療は国が負担等)を築く国民の努力と、誇りを感じさせられます。ちょっとうらやましいかも...



めがねの声

■私にとっての 災害の訓練は ...。

今年の1

今年の11 今年の11月には、3回も防災訓練に出ました。

そのうち2回は、港北区セーフティーネットの人たちや 災害ボランティアの人たちと参加した 広域の地域拠点の訓練で 港北小学校と 大曾根小学校です。

* * *

よつばホームのみんなも港北小に参加する予定でしたが、朝から雨で とても寒いのでやめることになりました。私は 自分の地域なので 参加しました。青いカッパを着て石のようになって話を聴いていました。いろいろな知り合いの方が 寒くないかと 気をつけて下さいました。小さい頃から知っている 八百屋さんのおばさんが、発電機に挑戦していました。ワイヤーを強く引いて動かすのです。何度も 何度もやって やっとドドドドッとかかりました。おばさんは もう75歳を過ぎると思います。みんな拍手をしました。

参加する男の人たちが少なくて 災害のときは 力が要るのに、困るのではないかと思います。

次の日は 大曾根小にいきました。港北小とは別の訓練をいろいろ見ました。倉庫の中には、人を助ける道具や 食料や オムツからノートまでたくさんの品物が整理されてありました。大きな炊飯器もありました。私は 初めて煙のトンネルを体験しました。真っ白な煙で何も見えません。ボランティアさんが車イスを押してくれていましたが、とてもこわかったです。

もう1回は、実家のある篠原台町の人たちと近所の公園でおこなわれました。近いので 私は電動車イスで行きました。道路のマンホールから放水する 消火訓練をみました。牛乳パックでお湯を沸かし、おにぎりを作って、家の近いグループごとに 地面に青いシートを敷いた上に座って 交流しながら食べました。

公園は 最近新しくなって 入り口に自転車などが入れないようにしたガードがSの字にまげてあります。電動椅子で通るのは 何度もきりなおして とても大変でした。皆 一緒にのぞき込んで、「こりゃ駄目だ」「あー 上手に通れたね」「でもこれじゃ駄目だ！」と消防の人たちも一緒に怒ってくれていました。

* * *

どこでも知っている人たちに会うと『元気?』とか 今どうしているのとか 声をかけて下さいました。それを見て 知らない人たちも声をかけてくれます。牛乳パックに新聞紙をつめて マキの作り方などを教えてくれたりしました。

訓練といっても 私には 何も出来ないけれど 私なりに覚える事はできますし「障害者も居るのよ」ということを 皆の考えに入れておいてほしいので そんな役目もあるのかなと思います。

これからも 近所を歩く事が大切だとおもいました。

大原友子

よつばホーム

日増しに寒さが身にしみるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

11月24日に次郎さんが職員と一緒に『ゴーオンジャーショー』を観てきました。

『ゴーオンジャーショー』とは、東京ドームシティで開催している、戦隊ヒーローショーです。前々から決まっていたこともあって、とても楽しみな様子です。

当日は天気が心配でしたが、日頃の行いが良い!?せいか、何とか持ちこたえました。

ショーの最中はずっと大興奮!で、隣にいる職員にパンチやキックをおみまいしてヒーローになりきってました(笑) とても満足したようです。

帰り口では『ゴーオンレッド』が握手しながらの見送りです!小さいお子さんはとても嬉しそうに握手してもらってるのに、次郎さんの表情は今ひとつ・・・。

あとで聞いたら「イエローが良かった。」と。ゞ(^o^;)オイオイ 普通レッドでしょ。

そう言えば、キレンジャー好きだし、林家木久蔵好きなのも黄色の着物だからか・・・。昼食はカルボナーラを食べて、とても充実した休日だったようです。

* * *

5月7日から入院していた、藤田博之さんが11月29日に無事退院しました。

当面は実家で過ごすこととなりますが、ご報告まで。

第2よつばホーム

11月は富岡章子さんと大原友子さんの誕生日がありました。

まずは一足お先に章子さんが19日に誕生日を迎えました♪ 笑顔いっぱい「しもだ」から帰宅し、早速職員が買って来たチョコレートケーキを披露します☆ さらに章子さんの笑顔がアップします。が、ケーキは食後のお楽しみ♪

お風呂も夕食も済ませ、いよいよお待ちかね誕生日会です。みんなで歌って章子さんをお祝いします♪とても嬉しそうでした。

翌週26日は友子さんです。

ショートケーキが食べたい♪というリクエストで、いちごいっぱいのケーキを用意します。夕食後に、ケーキを囲み皆でお祝いです。

「いくつになったの?(*^▽^*)」など楽しくお話ししながらみんなでケーキをいただきました。

日々が過ぎるのは、速いもので今年も残りわずかになりました。風邪等には気をつけて元気に今年をおえたいと思います。

